

1. 「学校の常識」を法的観点から問い直す —憲法学から乖離する人権教育と、 治外法権化する学校の改革を目指して—

講 師：黒川亨子

実施日・時間：7月27日（月）9時30分～16時

会 場：宇都宮大学峰キャンパス 8号館C棟2階大会議室

対象教員：小学校・中学校・高等学校・特別支援学校等の教員

定 員：35名

準備等：日本国憲法等の条文を参照しながら受講すると学習効果が高まりますので、小型の六法（最新版の『ポケット六法』（有斐閣）または『デイリー六法』（三省堂））を持参していただくことが望ましいです（※六法を持参せずに、受講することも可能）。

概要：本講座では、法的知識のない教員による人権教育（思いやり、自己肯定感、自尊心との混同及び児童生徒の人権を侵害する人権教育）並びに憲法違反の学校の慣習等（2分の1成人式、ブラック校則、いじめ指導等）の惨状を改善するために、①法と道徳の違い、②憲法と法律との違い、③人権の本質等に関する基本的知識を講義したうえで、④県内で実施されている人権教育及び学校の慣習等を具体的に取り上げ、法的観点から検討します。

2. 国語教育×演劇の可能性を探ろう

講 師：久保陽子

実施日・時間：7月28日（火）9時30分～16時

会 場：宇都宮大学峰キャンパス 8号館A棟2階8A21教室

対象教員：小学校・中学校・高等学校・特別支援学校等の教員

定 員：20名

準備等：特にありません。

概要：戯曲が文学教材として取り上げられる機会はあまり多くありません。しかしながら、対話＝ダイアログで構成される戯曲は、役を演じるロールプレイを通じて、登場人物の心情つまり他者をより深く理解するための助けにもなります。本セミナーでは戯曲の基本的な読み方を学ぶとともに戯曲ならではの国語教育への活用の仕方を考えていきたいと思います。

3. 教職についての理解を深めよう

講 師：東原定雄 井口桂一 尾崎承子 牧野高明

実施日・時間：7月29日（水）9時30分～16時

会 場：宇都宮大学峰キャンパス 8号館C棟2階大会議室

対 象 教 員：主として小学校・中学校の臨時的任用教職員

定 員：30名

準 備 等：特にありません。

概 要：本講座は、主として、現在臨時的に任用され、学校経営の充実のために尽力されている先生方に、教師としての実践的な学びを提供するために開催するものです。以下の4講座を開講します。

- ①学級経営 ～「集団づくり」にどう取り組むか～
- ②学習指導～「主体的・対話的で深い学び」をどう実践するか～
- ③児童生徒指導 ～子ども理解、問題行動への対応・支援～
- ④学校経営への参画 ～組織の一員として～

そ の 他：本講座は主として臨時的任用教員対象の講座ですが、その他の方々の受講も可とします。

4. 教師も楽しむ理科実験

講 師：南 伸昌

実施日・時間：7月30日（木）9時30分～16時

会 場：宇都宮大学峰キャンパス 8号館C棟2階 化学学生実験室及び大会議室

対 象 教 員：小学校・中学校・高等学校・特別支援学校等の教員

興味を持って学びたい方は、何方でも結構です。

定 員：20名

準 備 等：白衣や作業に適した服装（ジャージ可）、手拭い（安全）メガネ（貸出可）

概 要：・安全教育、器具の性質を含めた化学実験
ガラスの性質／炎の性質／燃える条件／気体の性質／水蒸気の性質／水の沸点
・ものの見え方の認識を深める実験
見えるとは／形が分かるとは／実像・虚像
・風やゴムの力を利用する工作
カムバックカー／回る種

※現時点で想定している内容で、変更もあります。

そ の 他：過去何年かの講座内容との重複もあることを納得の上、お申し込みください。申込時にリクエストがあれば検討します。

5. 子どもの運動能力と体力を楽しく効果的に高めるには？

講 師：松浦佑希 石川稜将

実施日・時間：7月30日（木）9時30分～16時

会 場：宇都宮大学峰キャンパス 8号館A棟2階8A22教室 及び
武道館（柔道場・剣道場）

対 象 教 員：小学校・中学校・高等学校・特別支援学校等の教員

定 員：18名

準 備 等：筆記用具、トレーニングウェア（運動できる服）、飲み物（実技時の水分補給）
体育館シューズ

概 要：本セミナーは、午前中は講義、午後は実技を行います。午前中の講義では、現在の子どもが置かれている環境・実態を示しながら、運動発達の理論をもとに、より効果的に子どもの運動能力と体力を高める具体的な方法について紹介します（講義担当：石川）。午後の実技では、体づくり運動の実技を中心に体育授業で応用できる教材を紹介します（実技担当：松浦）。

そ の 他：実技は見学も可能です。無理のない範囲でご参加ください。

6. 身近な食べものから考える 理科×家庭科の学び

講 師：夏目ゆうの・カバリエロ優子

実施日・時間：7月31日（金）9時30分～16時

会 場：宇都宮大学峰キャンパス 8号館B棟2階 調理実習室・8A23教室

対 象 教 員：小学校・中学校・高等学校・特別支援学校等の教員

定 員：20名

準 備 等：材料費（400円）・エプロン・マスク・三角巾・ハンカチタオル・昼食（昼食の提供はありません）

概 要：理科と家庭科の分野融合をテーマとした講座です。前半の「実験の部」では、マヨネーズづくりを題材に、物質の性質や構造を理科・家庭科双方の視点から体験的に学びます。後半の「ワークショップ」では、各教科で感じている授業上の課題や工夫を持ち寄り、それに対して他教科の視点がどのように貢献できるかを参加者同士で探ります。理科・家庭科の専攻を問わず、教科の枠を越えた学びに関心のある方の参加を歓迎します。

そ の 他：本教室では、衛生管理に十分配慮しつつ調理したマヨネーズ風のソースとトマト、ブルーベリーの試食があります。アレルギー食品となりうる鶏卵、牛乳、小麦粉は使用しませんが、食物アレルギーを持っている方は、申込時にアレルギー症状を引き起こす食品名をすべてお知らせください。

7. 小学校社会科 授業づくり入門

講 師：小栗克樹

実施日・時間：8月3日（月）9時30分～16時

会 場：宇都宮大学峰キャンパス 6号館A棟5階 6A508教室

対 象 教 員：小学校の教員

定 員：24名

準 備 等：文部科学省「小学校学習指導要領（平成29年告示）解説 社会編」（平成29年7月）（紙でもデータでも可）

授業で使用している教科書、地図帳、副読本、資料集等

社会科の年間指導計画（授業づくりで考えたい部分のみで可）

概 要：社会科の授業をどのように計画し、進めたらよいかについて、具体的なイメージがわからず悩んでいる方向けの講座です。前半は、模擬授業などを通して、学習問題を設定する場面、解決の見通しを立てる場面、学習したことを振り返る場面など、主な学習場面の具体的なイメージをもっていただきます。後半は、夏休み明け以降に行う授業の指導計画づくりをグループまたは個人で行い、できたところまでを持ち帰っていただきます。

そ の 他：講座内容は基本的に昨年度と同じです。昨年度受講された方が今年度も受講を希望される場合は、その点をご承知おきください。

8. 歌と音楽がもっと好きになる英語教育学「再」入門

講 師：長谷川佑介

実施日・時間：8月4日（火）9時30分～16時

会 場：宇都宮大学峰キャンパス 8号館A棟2階8A23教室

対 象 教 員：小学校・中学校・高等学校・特別支援学校等の教員（英語を教科として教えている方であれば学校種は問いません）

定 員：30名

準 備 等：特にありません。

概 要：英語教育学の基礎を楽しく「おさらい」しませんか？英語の発音、文法、句読法、言語理解のプロセス、学習指導要領、英語教育の歴史など、幅広いトピックをテンポよく取り上げます。なお、本講座は講義中心の形式です（人前で歌っていただくような活動はありません）。予習は一切不要で、恥ずかしがりの先生、英語に自信がない先生、再参加の先生でも大歓迎です。ただし、録音・撮影等はお控えください。

9. 子どもの自己肯定感を育むリズム遊びの理論と実践

講師：長谷川万由美 石川隆行 宮代こずゑ 高根沢伸友

実施日・時間：8月4日（火）9時30分～16時

会場：宇都宮大学共同教育学部附属幼稚園遊戯室

対象教員：幼稚園、小学校、特別支援学校の教員

定員：25名

準備等：ドラムを足ではさむ場合があるのですべりにくい材質のズボンが望ましいです。

概要：本講座では、子ども同士の関わりを通して自己肯定感を高めることを目的としたリズム遊びの理論と実践について学びます。具体的実践としてリズムアンサンブルの効果に着目して、ドラムサークル(参加者が輪になって打楽器を演奏する)をとりあげ、ドラムサークルファシリテーションの基本を学びながら、教育現場で生かす方法を検討します。

10. 小学校各教科指導法の基礎・基本

講師：上原秀一（道徳） 石塚諭（体育） 熊田禎介（社会）
高井太郎（国語） 出口明子（理科）

実施日・時間：8月4日（火）9時30分～16時

会場：宇都宮大学峰キャンパス 8号館C棟2階大会議室

対象教員：小学校の臨時的任用教職員

定員：30名

準備等：特にはありません。

概要：本講座は、現在、小学校で臨時的に任用され、学校経営の充実のために尽力されている先生方に、各教科の指導法について基礎的・基本的な学びを提供するために開催するものです。

国語・社会・理科・体育・道徳の5教科について、学習指導要領改訂の最新の動向を踏まえて、指導法のエッセンスをそれぞれ60分の講習でお伝えします。

1 1. 「子どもの哲学」を体験してみよう

講 師：小井沼広嗣

実施日・時間：8月5日（水）9時30分～16時

会 場：宇都宮大学峰キャンパス 7号館1階ティーチングコモンズ

対 象 教 員：小学校・中学校・高等学校・特別支援学校等の教員

定 員：18名

準 備 等：特にありません。

概 要：近年、「主体的・対話的な深い学び」を具体化する方法のひとつとして、「子どもの哲学(Philosophy for Children: 通称 p4c)」という対話的な探究活動が広がりを見せています。p4c は総合的な学習の時間や道徳をはじめ、様々な教科で実践することが可能です。また、普段の学級づくりにも役立てることが出来ます。この講座では実際に p4c を体験していただき、その魅力や特質、実践方法についてご紹介します。

1 2. 幼児・児童・生徒ひとりひとりの手持ちの力を尊重し育むための教育を考えてみよう

講 師：石川由美子・齋藤大地・福田奏子

実施日・時間：8月5日（水）9時30分～16時

会 場：宇都宮大学峰キャンパス UUプラザ2階コミュニティフロア

対 象 教 員：特別支援学校に勤務している方および小学校・中学校・高等学校等に勤務し特別支援教育に興味関心のある方

定 員：24名

準 備 等：参加者ご自身が印象深く心に残している教育体験エピソードがある方はメモ程度に当日ご持参ください。

概 要：幼児・児童・生徒が“ここの今” 自身の手持ちの力を使って充実して生きることが出来る環境（対象としての人やモノ）を教育の場に整え共に生き合う。その先にやっと“できる（自立）”を基盤とした子ども自身の主体的な活動の可能性がみえてくるかもしれないのであって、“できるようにさせる”ための教育目標と手段が“自立”の前に敷かれる唯一の文脈(状況)ではないだろう。ひとりひとりの手持ちの力で“ここの今”を生き合うことができる教育という視点から、教育を考える対話的セミナーを開催します。その時間その場所で出会った主催者と参加者だから創造できる時間と教育の可能性に興味のある方の参加をお待ちしています。

13. 抽象表現を体験的に理解する — 絵の見方・伝え方を考える —

講 師：東方悠平

実施日・時間：8月6日（木）9時30分～16時

会 場：宇都宮大学峰キャンパス 8号館B棟1階図画工作室

対 象 教 員：小学校・中学校・高等学校・特別支援学校等の教員

（美術科・図画工作科を中心に、教科不問）

※美術経験の有無は問いません

定 員：20名

準 備 等：筆記用具、汚れてもよい服装

（画材・用紙等は主催者側で準備します）

概 要： 本講座では、抽象表現を「描き方の技法」としてではなく、「感じ取り、理解するための方法」として捉え直します。

美術史的背景を簡単に確認したうえで、音・感覚・記憶などを手がかりにした造形ワークショップを体験し、段階的に抽象化を行います。

実際に手を動かすことで、写実ではない表現の価値や、子どもたちの多様な表現をどのように読み取り、伝えていくかについて考えます。

図画工作・美術の授業における評価や声かけの視点を深めることを目的とします。

そ の 他：実技経験の有無は問いません。

講義と体験を組み合わせた内容です。

14. 鍵盤ハーモニカで表現しよう

講 師：新井恵美

実施日・時間：8月18日（火）9時30分～16時

会 場：宇都宮大学峰キャンパス 6号館A棟1階6A11教室

対 象 教 員：小学校・中学校・高等学校・特別支援学校等の教員

（音楽が専門である必要はありません。鍵盤で小学校教材程度のメロディーが弾けるとよいです。）

定 員：20名

準 備 等：32鍵以上の鍵盤ハーモニカ（全員）、ショルダーバッグのストラップ（楽器を肩掛けしたい方）

概 要：音楽の授業（特に小学校）で用いられることの多い鍵盤ハーモニカですが、近年はプロのプレイヤーも多く活躍する楽器になっています。この講座では、鍵盤ハーモニカによる独奏（片手でも両手でも。ピアノ伴奏付きも歓迎。）、重奏、合奏などを通して、楽器の特性も踏まえつつ、表現することについて考えていきます。最後に、受講生それぞれに演奏をしていただきます。楽曲はこちらで準備しますが、演奏してみたい曲がある方は楽譜を持参してください。

15. 言語活動を軸にした教育内容・方法論

講 師：青柳 宏

実施日・時間：8月19日（水）9時30分～16時

会 場：宇都宮大学峰キャンパス 6号館5階大講義室

対 象 教 員：小学校・中学校・高等学校・特別支援学校等の教員

定 員：30名

準 備 等：特にありません。

概 要：本講座は、様々なテーマについて、受講者が「対話」を通して互いに感性・思考等を育み合っていくことを目指します。本講座は、この活動を通して、受講者一人一人がそれぞれの教育現場で、様々な授業で対話的な実践を展開していくための力を育むことを目的としています。自然環境、戦争、人権等を視野に入れ、多様なテーマについて探求します。また、「絵本」等を教材にしながら、感性と思考を同時に拓いていく方法を探求します。

そ の 他：教職大学院の「言語活動を軸にした教育内容・方法論」とのコラボ授業です。教職大学院の院生と共に学びます。

16. 地球や宇宙を時間的・空間的な見方で捉えよう

講師：瀧本家康

実施日・時間：8月19日（水）9時30分～16時

会場：宇都宮大学峰キャンパス 8号館C棟3階 基礎地学実験室、屋外

対象教員：中学校理科の教員

定員：16名

準備等：各自のノートPC（当日に限り学内wifiへの接続が可能です）

（勤務校から貸与されているPCやchromeブックではなく、個人所有のWindowsノートPCを推奨します。業務用PCやchromeブックの場合、インターネット接続やソフトの動作に不具合が出る場合があることがこれまで確認されています）

概要：地学（地球領域）の学習では、時間的・空間的な視点から対象を捉えることが重要です。しかし、その理科の他の領域とは異なる特有の視点が、指導者・学習者にとって地学（地球領域）の「教えづらさ」「学びにくさ」の原因となっていることも指摘されています。そこで、本講座では、地学特有の見方・考え方のポイントを体験的に学習し、今後の指導に活かせるきっかけとなることを目指します。

その他：野外での活動も予定していますので、動きやすい服装・靴等をお願いします。ただし、暑熱環境の状況によって室内での活動に限定する場合があります。

17. 授業で活用するための3Dプリンター入門

講師：石島隆志

実施日・時間：8月19日（水）9時30分～16時

会場：宇都宮大学峰キャンパス 7号館1階ティーチングcommons

対象教員：小学校・中学校・高等学校・特別支援学校等の教員

定員：16名

準備等：ノートパソコン（Windows）

マウス

Google アカウント

概要：GIGAスクール構想で整備されたタブレット端末の活用を想定し、3Dプリンターを用いた学習についてグループワークを通して協調的に考えます。

3Dプリンターの導入方法からTinkercadやAIを用いた3Dモデリングから設計・出力までを授業を想定して体験し、ネームプレート等の制作を行います。

工夫点やつまずきやすいポイント、授業での活用方法を共有し、初心者の先生でも安心して活用できる教材・教具のアイデアを提案します。

18. 若手小学校教員の教職レジリエンスを考える

講 師：川原誠司

実施日・時間：8月20日（木）9時30分～16時

会 場：宇都宮大学峰キャンパス 8号館A棟2階8A22教室

対 象 教 員：教職5年目までの若手小学校教員

定 員：30名

準 備 等：資料等は全てこちらで準備いたします。当日配付の予定です。
事前に提出する課題はありません。

概 要：若手教員の皆さんが、「大学での教職の学びと実際に勤務してからの実態との隔たり」や「理想と実際との狭間」で苦しむ様子を耳目にします。若手教員が職務上のストレスに現実的に対応できる教職レジリエンスについて意識し、持続可能な教職になるためのヒントとなる講習にしたいと思います。職務状況が学校種で異なるため、今回は若手小学校教員を対象にします。参加者同士で語り合う時間も取るので、ぜひ交流しましょう。

そ の 他：講習を受けての教職レジリエンスに関する簡単なアンケートに回答していただきたいと思っています（無記名方式で、ご自身の職場や職務への影響は一切ありません）。

19. 失敗しない生物実験

講 師：井口智文

実施日・時間：8月20日（木）9時30分～16時

会 場：宇都宮大学峰キャンパス 8号館C棟4階 基礎生物学実験室

対 象 教 員：小学校・中学校・高等学校・特別支援学校等の教員

定 員：12名

準 備 等：染色液を使用するので白衣を持っている方は持参して下さい（なくても受講は可能です。）

概 要：生物実験は失敗することが多く授業で行う場合苦勞を伴います。本講座では、中学校理科の生物実験を中心に「動物細胞の観察」「染色体の観察」「葉の断面の観察」「気孔の観察」「DNAの抽出」などいくつかを精選し、実験成功のポイントを解説し実際に体験して頂きます。また、教科書記載実験をベースにした応用的内容の実験も紹介しますが、基礎的な実験が多く、生物実験をあまり得意にされていない方向けの講座とお考え下さい。

そ の 他：令和7年度の講座の実験を一部変更して実施します。なお、理科の実験助手の方にとっても活用できる内容の実験を実施する予定です。

20. 数学的な見方・考え方を育てる授業を考える

講 師：日野圭子 牧野智彦

実施日・時間：8月20日（木）9時30分～16時

会 場：宇都宮大学峰キャンパス 8号館A棟2階8A21教室

対 象 教 員：小学校教員・中学校数学科教員

定 員：20名

準 備 等：本講座実施日の1週間前までに、「数学的な見方・考え方を育てる授業」について、自身の授業で課題と知っていることや、知りたいことなどを書いたメモ（箇条書き等の簡単なもので結構です）を提出してください。当日の講義で生かしたいと思います。メモ書きは、メールで提出してください。

（送付先：khino@a.utsunomiya-u.ac.jp）

概 要：数学的に考える資質・能力の育成では、児童生徒が数学的活動の様々な局面で数学的な見方・考え方を働かせることが必要です。本講座では、数学的な見方・考え方について、その捉え方や内容との関連性を述べるとともに、児童生徒の数学的な見方・考え方の成長を促すために、数学的活動を中心として、どのような授業を作ることができるかを考えます。

本講座は、グループによる作業や話し合いも取り入れながら進めていきます。受講者間の交流を通して、自身の授業について振り返り、視野を広げる機会となるようにします。

【備考】

対象教員の校種で、小学校は義務教育学校前期課程、中学校は義務教育学校後期課程を含みます。